



6次産業化・地産地消メールマガジン

令和6年12月20日発行 第295号



【6次産業化・地産地消メールマガジン登録者の皆様へ先行募集のご案内】

GFP×AFJ特別企画

「海外輸出を体系的に学ぶ1泊2日集中プログラム」について

先行募集期間： 本日～2024年12月25日（水）

お世話になっております。
農林水産省 輸出・国際局 輸出支援課です。

昨年開催し好評をいただいた農林水産省GFP× AFJ日本農業経営大学校「農林水産物・食品海外輸出に向けた実践講座」について今年是对面の1泊2日集中プログラムとして開催することとなりました。

- ・開催日：2月13日（木）・2月14日（金） 1泊2日
 - ・開催場所：AFJ日本農業経営大学校 校舎（東京都港区）
 - ・主な対象者：農業従事者、輸出事業者支援に携わる方（主にJA・都道府県職員等）
 - ・定員：30名
 - ・受講料：44,000円（税込） 1泊2日 食費・懇親会費・宿泊費込み
 - ・申込期間：
- 先行募集：本日～2024年12月25日（水）
一般募集：2024年12月26日（木）～2025年1月24日（金） 17:00

【海外輸出を体系的に学ぶ1泊2日集中プログラム】

本講座は農林水産物・食品の輸出について、農業従事者や輸出事業者支援者の皆様が海外展開の準備から実践までを体系的に学び、輸出事業者に求められる要素や輸出実施に向けた課題を明確化するカリキュラムとなっています。

また、グループワークや懇親会など、AFJ日本農業経営大学校における1泊2日のプログラムを通じて、受講者同士が関係を深め、全国の海外展開に取り組む方々のネットワークの機会としても活用いただける講座となっています。

はじめて輸出に取り組む方々はもちろん、既に輸出に取り組まれている方々にとっても、改めて輸出について体系的に学ぶことで、輸出拡大を牽引する生産者になるための課題や方向性を再認識できる内容となります。

また、輸出事業者支援者の方々におかれましても、伴走支援をしていくうえで、基本的に必要なとされる体系的な知識や輸出産地の事例を交えた取り組みを学ぶことで、より効果的な輸出事業者や産地のサポートのあり方について考える機会になることと思います。

是非、農林水産省が図る輸出拡大の取り組みの一員として、海外展開について学び、日本の食の海外輸出を牽引する存在を目指しませんか？

▼案内チラシリンク

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_mailmaga/pdf/afjgfp_export.pdf

▼お申込はこちら

https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/theme3_2025/

【申込時のお願い】

- ・先着順のため先行募集期間（2024年12月25日まで）のお申込みを推奨します。
- ・申込フォーム内「どのようなきっかけでこの講座を知りましたか？（複数選択可）」の設問には「6次産業化・地産地消メールマガジンからの案内」とご記入ください。

▼人材開発支援助成金

※本講座は、厚生労働省が所管する「人材開発支援助成金（計画的に従業員を訓練、育成する事業主等を支援する制度）」の申請要件を満たします。ただし、制度の適用については、その他の要件がありますので、管轄の労働局、ハローワークまでお問い合わせください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

▼参考

GFP 農林水産物・食品輸出プロジェクト（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/gfptop.html>

▼お問い合わせ先

AFJ日本農業経営大学校（運営法人：一般社団法人アグリフューチャージャパン）

TEL：03-5781-3750／MAIL：application-online@afj.or.jp

URL：<https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/>

◇ メルマガの配信登録・解除はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

◇ 農林水産省では、これまでの6次産業化を発展させた
「農山漁村発イノベーション」の取組を支援しています。
詳しくはこちら（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/inobe/index.html>

*** 【発行元】*****

農林水産省 農村振興局 農村政策部

都市農村交流課

〒100-8950 東京千代田区霞が関1-2-1

代表：03-3502-8111（内線：5446）